

2019年室内環境学会学術大会 優秀ポスター賞 受賞の言葉

P-18 一般住宅におけるハウスダスト中のリン系難燃剤の濃度と組成実態調査

王齊¹⁾, 久米一成²⁾, 清健人¹⁾, 増田美里¹⁾, 三輪春樹¹⁾,
甲斐葉子¹⁾, 徳村雅弘¹⁾, 三宅祐一¹⁾, 雨谷敬史¹⁾

¹⁾静岡県立大学, ²⁾東京都市大学

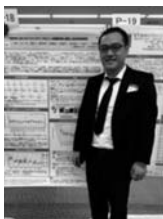
このたび、室内環境学会2019年沖縄大会で発表いたしました“一般住宅におけるハウスダスト中のリン系難燃剤の濃度と組成実態調査”にて優秀ポスター賞を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。

カーテンや家電などの室内製品には、火災リスクの低減のために、難燃剤として種々の化学物質が添加されており、我々の身の回りに遍在しています。近年、従来から使用されていた臭素系難燃剤の一種であるヘキサブロモシクロドデカン（HBCD）や、一部のポリブロモジフェニルエーテル（PBDEs）が、その毒性や環境残留性などの理由により、残留性有機汚染物質（POPs）として規制されました。その代替物質として、リン系難燃剤（PFRs）の種類や使用量が増加しておりますが、PFRsに対するヒト健康リスクは十分に評価されておりません。一方、多くのPFRsは、半揮発性有機化合物（SVOCs）であり、室内環境において製品からハウスダストへと移行し、ヒトに曝露することが知られております。そのため、室内環境に存在するPFRsのリスクを評価するためには、ハウスダスト中のPFRs濃度の把握が必要です。

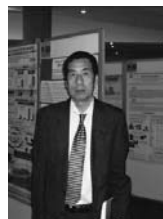
このような背景のもと、本研究では、日本国内の一般住宅からハウスダストを採取し、19種類のPFRsに対して調査を行いました。調査結果に基づき、1) 季節によるPFRs濃度の変動、2) ハウスダスト中PFRs濃度レベルの実態、3) 主要PFRs濃度の年度別経時変化、4) 室内環境における新規PFRsの汚染実態について報告いたしました。

最後になりましたが、本研究の遂行に多くの助言を頂きました方々に衷心より感謝申し上げます。

……著者データとプロフィール……



王齊
(わん・ちー)
静岡県立大学
食品栄養科学部 環境生命科学科
特任助教
博士(環境科学)



久米一成
(くめ・かずなり)
東京都市大学
環境学部 環境創生学科
客員教授
博士(環境科学)



清健人
(せい・けんと)
静岡県立大学
大学院薬食生命科学総合学府
環境科学専攻 博士前期課程1年



増田美里
(ますだ・みさと)
静岡県立大学
大学院薬食生命科学総合学府
環境科学専攻 博士前期課程2年



三輪春樹
(みわ・はるき)
静岡県立大学
大学院薬食生命科学総合学府
環境科学専攻 博士前期課程1年



甲斐葉子
(かい・ようこ)
静岡県立大学
食品栄養科学部 環境生命科学科
研究補助員



徳村雅弘
(とくむら・まさひろ)
静岡県立大学
食品栄養科学部 環境生命科学科
助教
博士(工学)



三宅祐一
(みやけ・ゆういち)
静岡県立大学
食品栄養科学部 環境生命科学科
助教
博士(工学)



雨谷敬史
(あまがい・たかし)
静岡県立大学
食品栄養科学部 環境生命科学科
教授
博士(理学)